

日本生活協同組合連合会 福祉事業推進部からのご案内

| | |
|--|--|
| 平成 30 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業 「在宅生活を支える重度化予防のためのケアとその効果についての既存指標等を用いた調査研究」 報告会のご案内（第 1 次） | 発行日 2019/1/28 担当：齋藤・野村・一宮 電話：03-5778-8107 Mail:fukushi.tantou@jccu.coop |
|--|--|

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連）では、平成 30 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業を受託し、在宅生活を支える重度化予防のためのケアとその効果についての既存指標等を用いた調査研究に取り組みました。この度、本調査研究内容について報告会を開催いたします。

開催概要

- (1) 日時：2019 年 3 月 29 日（金）13:30 - 16:30
- (2) 会場：富士ソフトアキバプラザ 6 F セミナールーム 1
東京都千代田区神田練堀町 3 富士ソフト秋葉原ビル
<https://www.fsi.co.jp/akibaplaza/map.html>
- (3) 申込先：以下の URL よりご入力ください。
<https://business.form-mailer.jp/fms/08d66d4999208>
申込締切：2019 年 3 月 15 日（金）
- (4) 参加募集人数：100 名程度
- (5) 参加費：無料
- (6) 主催：日本生活協同組合連合会

「在宅生活を支える重度化予防のためのケアとその効果についての既存指標等を用いた調査研究」について

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向けて、自立支援・重度化予防に資する質の高い介護サービスの実現が求められているなかで、介護現場で実践されている重度化予防のためのケアについて、その効果を検証するために調査研究に取り組みました。

介護サービスの質評価に係る研究実績がある研究者と重度化予防ケアをすでに実践している介護事業所・専門職をメンバーとする研究組織体制を構築し、介護サービス利用者の ADL・IADL など身体機能の側面や、意欲、活動と参加の状況などについて既存の評価指標等を用いながら多面的に検証をすすめています。

■調査研究推進体制

| | |
|--------|--|
| 近藤 克則 | 千葉大学 予防医学センター 教授 国立研究開発法人 国立長寿医療センター 老年学評価研究部長 |
| 伊藤 美智予 | 名古屋大学 予防早期医療創成センター准教授 |
| 石橋 智昭 | 公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長／主席研究員 |
| 土屋 瑠見子 | 公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団 研究員 |
| 目 麻里子 | 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学/緩和ケア看護学 助教 |
| 安部 裕則 | 社会福祉法人 協同福祉会 天理・橿原・桜井エリアマネジャー |
| 坂本 祥一 | 社会福祉法人 協同福祉会 理学療法士 |
| 河野 裕敏 | 医療生協さいたま生活協同組合 作業療法士 |
| 田邊 由紀恵 | 東京ふれあい医療生活協同組合 作業療法士 |
| 藤井 啓子 | 一般社団法人 医療・介護の質システム研究所 代表理事 |
| 山際 淳 | 日本生活協同組合連合会 福祉事業推進部 部長 |

報告会会場(アキバプラザ) アクセス

- ・ JR 線秋葉原駅 中央改札口より徒歩 2 分
- ・ つくばエクスプレス線 秋葉原駅 A3 改札口より徒歩 1 分
- ・ 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 2 番出口より徒歩 4 分

